2025 年度年次報告書

先端国際共同研究推進事業
【2025 年度採択　日本-英国共同公募　AI・情報分野】

【研究課題名】
包摂的かつ持続可能な製造のための人間中心 AI・ロボティクスに関する日英共同研究拠点

研究代表者：
山野辺　夏樹（産業技術総合研究所ウェルビーイング実装研究センター　研究チーム長）

主たる共同研究者：
江間　有沙（東京大学東京カレッジ　准教授）

相手側研究代表者：
Niels Lohse（The University of Birmingham　Professor of Manufacturing Automation and Robotics）

1. 研究進捗状況と成果

本研究は、製造現場における労働人口減少や高齢化、持続可能性への要求といった課題を背景に、人間中心 AI・ロボティクス技術の確立を目的とする日英共同研究拠点の構築を目指している。2025 年度は、プロジェクト開始年度として、研究全体の方向性を日英双方で共有し、今後の共同研究を円滑に進めるための基盤整備を進めた。対象とする製造分野や作業工程についての検討を開始し、初期ユースケースの候補整理を行った。

また、ネットワーク構築については、日英の参加研究機関間での連携体制を整備し、キックオフミーティングの企画を通じて研究目的や役割分担を明確化した。データ共有や議論を行うためのオンライン環境整備を進め、将来の共通テストベッド構築や複数機関参加を見据えた枠組みについて検討を開始した。

若手研究者の育成については、次年度以降の派遣やサマースクール等に向けた準備を開始した。

2. 代表的な成果事例

研究開始後間もないことから、現時点で対外的に公表可能な研究成果には至っていない。一方で、研究計画に基づき次年度以降の日英ワークショップや相互派遣の計画、研究環境の整備及び調査準備等を進めており、今後本格的な研究活動を展開する予定である。